

## ■ Evergreen 新ホームページの開設

ジャーナル Evergreen では、2017年9月より、ジャーナルの Homepage をリニューアルしました。新しい頁は、緑色をベースに黒色のメニューバーを大きく横に配置してコンテンツの内容を分かり易くしました。大きな特徴としては、次号の投稿締め切り日時を示すカウントダウンタイマーを付けたことが挙げられます。これにより締め切りまでの残り時間が一目で明確に分かるようになっていきます。

また、これまでの頁になかった特徴としては、「Coming Issue」というリンクバナーを設け印刷前の論文を掲載する頁を作りました。従来は、印刷物として発行された後に、Web 頁への掲載を行っていましたが、今後は、早い段階でアクセプトされた論文について、発刊前に Web 掲載することも可能となります。

さらに、ページの右上には検索窓を設け、サイト内での検索を可能としています。

また、各論文のフルテキストリンクのほかに、アブストラクトやキーワードのみ表示させるリンクを設けました。

新HPのレイアウトには、レスポンスWebデザインを採用しています。このWebデザインは、1つの頁レイアウト (HTML) をプログラム (CSS) で制御し、閲覧する人のデバイス画面 (PC、スマートフォン、タブレット等) のサイズに応じて頁のレイアウトやデザインを最適化して表示させる技術の事で、最近ではこのデザインを採用するWeb頁も多くなってきているようです。利用者にとっての利点としては、PCやスマートフォン、タブレットなど、閲覧する人の端末によって画面のデザインが自動的に切り替わるため、より閲覧しやすくなるという点があります。作成側にとっても、PC用、スマートフォン、タブレットとそれぞれ別々の頁を準備する必要がなく、1つの頁で対応できるという長所があります。また、デバイスによって同じコンテンツが複数ある事より、1つのコンテンツでURLが同一になる為、SEO<sup>®</sup>にも有利に影響し、Google等での検索が容易になるという効果もあるようです。



新しいURLはこちらから閲覧可能です。  
<http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/evergreen/index.php>

※ SEO: "Search Engine Optimization" の略語で、検索結果でWebサイトが上位に表示される取り組み。検索エンジン最適化とも言う。

## ■ カリキュラム改訂について (研究室ローテーション、プラクティススクール、および国際・国内インターンシップ)

グリーンアジアプログラムでは、学生の負担および費用面の問題を考慮して、研究室ローテーション、プラクティススクールおよび国際・国内インターンシップに関するカリキュラム改訂 (期間の短縮、選択肢の多様化、提出物の簡素化等) を行い、平成29年5月から運用を開始しました。新しいカリキュラムでは、それぞれの項目を以下の要領で実施します。

### 研究室ローテーション

大学院入学後2年の間 (修士課程に相当) に行います。これは、科学・工学およびその他学問に関する幅広い知識と方法論の習得を目的としたもので、異なる2つの研究室でそれぞれ少なくとも3か月間研究を行います (2つの研究室には、メンターの指導する研究室も含めます)。また、支障が無い限り、選択する研究室が二つ以上の専攻に跨ることを推奨します (強制ではありません)。また、人文社会系研究室の選択も推奨しています。研究室ローテーションでは、従来の修士論文研究とは異なり、「異分野の研究方法論の獲得」に主眼を置いた研究を実施します。そのため、通常の修士論文研究のような新規な研究データの獲得は必須ではありません (ただし、新規データ獲得を目標とすることを妨げるものではありません)。修士要件およびQE受験要件の「講究I/II/III (各2単位)」として成績・単位認定されます。

### プラクティススクール

大学院入学後2年の間 (修士課程に相当) に行います。これは、民間企業や研究機関で2~3週間程度のインターンシップを行い、産業の現場で必要とされる知識や技能を体感して学習することを目的としています。修士要件およびQE合格要件の「プラクティススクール (2単位)」として成績評価・単位認定されます。

### 国際インターンシップ

博士後期課程の間に行います。これは、研究機関等で3~6週間程度のインターンシップを行い、海外の研究開発 (業務) の現場で必要とされる知識や技能を体感して学習することを目的としています。原則として、まずは外部機関が費用をサポートするインターンシッププログラムに応募してもらいます。他に手段がない場合は、限度額がありますが、GAよりサポートします。コース修士要件の「国際インターンシップ (2単位)」として成績評価・単位認定されます。

### 国内インターンシップ

博士課程の間に行います。これは、研究開発 (業務) の現場で必要とされる知識や技能を体感して学習することを目的としています。プラクティススクールと異なる機関も選択可能です。

国内インターンシップには、次の三つの選択肢があります。

Option 1) 企業や外部機関が費用をサポートするインターンシッププログラムに応募して実施する。

Option 2) 就職説明会あるいは企業主催のシンポジウムに少なくとも2回出席する。シンポジウムでポスター発表する場合には、1回でも構いません。

Option 3) 学生のメンターの資金援助の下、日本国内の研究機関や企業で約10日間のインターンシップを行う。

コース修士要件の「国内インターンシップ (1単位)」として成績評価・単位認定されます。